

7. 汚水処理調査情報システム

概要

下水道事業は、集合処理、個別処理の区分、重点的整備区域及び整備予定区域見直しなどが求められており、下水道以外の汚水処理方式を一体として考慮し管理することが重要です。特に、浄化槽市町村整備推進事業では、現況の汚水処理方式が明確にすることが、適切な計画策定につながります。

また、住民基本台帳ベースで、汚水処理方式の調査を行うことで精度の高い水洗化率や普及率を算出することが重要です。

業務実施のメリットや効果

- ① 全ての汚水処理方式の現状把握が地図情報上で確認することができます。
- ② 市町村型合併浄化槽と単独、合併浄化槽の区分けが可能となります。
- ③ 住民基本台帳の取り込み機能により、現況の使用を確認することができます。
- ④ 豊富な集計機能により、字町単位での水洗化率、普及率を算出することができます。
- ⑤ 水洗化の勸奨履歴の登録管理をすることができます。
- ⑥ 浄化槽の法定点検情報の管理をすることができます。

効率的な下水道整備を求められる中小自治体では、従来の下水道計画の見直しが進められており、本システムを導入した自治体では計画区域の見直しに、汚水処理調査情報が役立てられています。

市町村内の汚水処理方式全戸調査業務などの実績がありますので、システム導入だけでなく、今後の維持管理必要な汚水処理方式データベースの構築も支援できます。



●**汚水処理調査データ管理機能**
下水道だけでなく浄化槽、汲取り、コミュニティプラントなどの全ての現況の汚水処理方式を調査し管理します。



●**住民情報管理機能**
汚水処理調査情報に住民基本台帳データを関連付け、正確な水洗化率、処理方式別人口や世帯数を算出することができます。



●**住民情報取り込み機能**
住民情報の差し替えは、エクセルデータファイルより一括で行います。汚水処理調査情報との関連付けを保持し、異動分はシステムから関連付け作業を行うことができます。

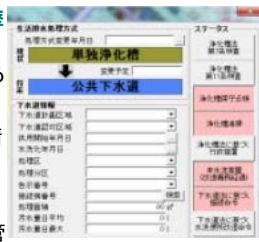


●**浄化槽点検清掃情報管理機能**
浄化槽情報に対しては、浄化槽法定点検、保守点検、清掃、行政検査情報の登録ができます。また、検査等の予定日を登録することで、未検査情報の抽出もできます。



●未水洗理由・勸奨履歴
情報管理機能

下水道接続義務がある世帯に対しての水洗化促進に必要な情報を管理します。未水洗理由、水洗化促進勸奨履歴情報の管理もできます。



●ステータス情報管理機能

改造義務経過や浄化槽未点検など注意すべき世帯情報を管理し、集計やGIS上で色分けができます。



●帳票出力機能

住民情報を関連づけしている場合は、現況汚水処理方式ごとの正確な人数、世帯数が帳票やグラフに出力されます。汚水量や処理面積に関する帳票や、将来の汚水処理方式の帳票など多彩な出力ができます。